

マリンレジャー安全レポート

第七管区海上保安本部
マリンレジャー安全推進室
TEL 093-321-2931
E-mail:kyuunan7-j7vj2@kaiho.mlit.go.jp

第56号(平成22年3月)



つければ 浮くぞう
ライフジャケット

ライフジャケット着用推進会議

平成22年2月
プレジャーボート等
海難発生隻数

合計	14隻
衝突	4
乗揚	3
転覆	0
浸水	1
推進器障害	0
舵障害	0
機関故障	3
火災	0
爆発	0
行方不明	0
運航阻害	2
安全阻害	1
その他	0

海の事件・事故は
局番なし118

錨泊(漂泊)中も見張りを厳重に!

2月21日午前9時15分頃、響灘白島男島の北西約0.8海里の海上で、操業を終え帰港中の漁船A丸の船首部と、錨泊遊漁中のプレジャーボートBの左舷船尾部とが衝突しました。A丸は見張り不十分、Bは漁船の動向を見てはいたものの相手が避けてくれるものと思いつてもしなかったことが原因です。

同日午後2時42分頃、萩相島の東方約3.3海里の海上で、遊漁を終え自動操舵で帰港中の遊漁船A丸(船員1名、釣客2名乗船)の船首部と、錨泊し遊漁中のプレジャーボートB(3名乗船)の左舷船体中央部とが衝突しました。双方の見張り不十分が原因で、衝突直前にお互いの接近に気付いたが何もできないまま衝突したものです。

両衝突事故とも幸いにも船体損傷は軽く、怪我も打撲程度で済んでいます。

～ 事故からの教訓 ～

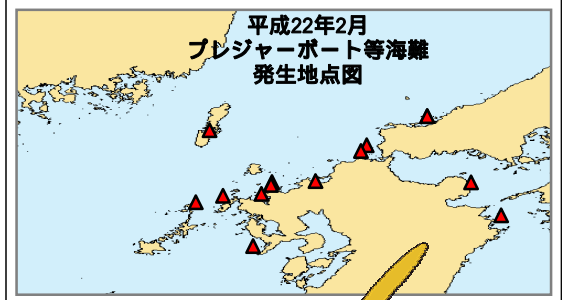
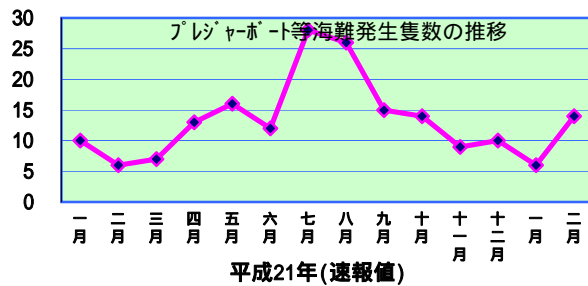
マリンレジャー(プレジャーボートでの遊漁)を楽しむときは、

錨泊(漂泊)中でも周囲の見張りを厳重に行いましょう。

漂泊(錨泊)中、自分に向かってくる船がいれば、早めに機関を起動して、いつでも避航できるように心がけましょう。(相手は見えていないかもしれない!)

救命胴衣は常時、正しく着用しましょう。

防水携帯電話や防水パックに入れた携帯電話等による連絡手段を確保しましょう。



平成22年1月 マリンレジャーに伴う海浜事故者数

活動内容	遊泳中	釣り中	サーフィン中	スノーボード/ダイビング中	水上オートバイ中	その他	合計
海中転落	()	1 (1)	()	()	()	()	1 (1)
自傷	()	()	()	()	()	()	()
病気	()	()	()	()	()	()	()
溺水	()	()	()	()	()	()	()
帰還不能	()	()	()	()	()	()	()
その他	()	()	()	()	()	()	()
合計	()	1 (1)	()	()	()	()	1 (1)



九州「海の駅」をご存知ですか?

海の駅とは?

昨今のマリンレジャーの多様化、安全で安心なマリンレジャーの振興、地域経済の活性化に対応した新たな拠点として、既存の港湾やマリーナ、フィッシャリーナ等を活用した「海の駅」が各地に設置・拡大されています。

「海の駅」は、来訪者のための一時係留設備(ビジターバース)、トイレ、情報提供のための施設を要件とし、ホテルやレストラン等の施設を併設したところもあり、地域観光の足がかりとしても利用されています。

さらに、「海の駅」では、レンタルボート等を利用したクルージングのほか、各種マリンイベントの開催、朝市による海産物等の販売、地元漁船等を活用した漁業体験など、地域の特性を活かした取り組みが実施されています。(国土交通省海事局ホームページより)

現在ご利用いただける九州「海の駅」

ふくおか・マリノア海の駅 おおむらわん海の駅 しんもじ海の駅 ながさき海の駅 ハウステンボス海の駅
みすみ海の駅 ながさき・でじま海の駅 させぼ・くじゅうくしま海の駅 さいき・おおにゅうしま海の駅 ごと
う・うくじま海の駅 いまり海の駅 くにさき・マリンピアむさし海の駅 あまくさ海の駅 うと海の駅 つしま海
の駅 くまもと海の駅 せとうち海の駅

詳細については、九州運輸局ホームページまで：[//www.tb.mlit.go.jp/kyushu/uminoeki/body.htm](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/uminoeki/body.htm)

